**藤里駒ヶ岳：樺岱登山口**

**行程**：2.87キロメートル

**所要時間**：3時間（片道）

樺岱コースは、は、藤里駒ヶ岳（1,158 m）の山頂へと続いている。2018年に補修された道は、山の南側に沿って延びている500メートル以上の登り坂で、多くのブナの巨木の間を通る。これらのブナは奥地に植生しているために伐採を免れた。登山口から約1,000メートルのところに来ると、登山コースはブナダイラ、つまり「ブナの平地」として知られるエリアに続いている。ここは、ブナの老木がたくさん生えているなだらかな台地である。

藤里駒ヶ岳は昔から藤里の人々に崇拝されてきた。春になると、ふもとの丘陵地帯に住む農民たちは、溶けた雪が山腹を走る馬のように見えるようになるのを合図に農作業を始める。

藤里駒ケ岳は、世界遺産白神山地の一部ではなく、白神山地と名付けられた歴史的地域の一部である。登山コースに沿って生長する植物を食べようとして、動物が山から出てくることが多いため、登山者はニホンザルや野生のイノシシ、ツキノワグマに注意する必要がある。

注意：登山コースにトイレはない。